

地域医療について

【社会環境部会】

高齢化の進展による医療需要の増大が予想される一方で、医師不足に伴う病院の診療科の休廃止が相次ぐなど、長野県の地域医療を取り巻く環境は厳しい状況にある。

保健医療を取り巻く社会環境の変化に的確に対応するとともに、将来を見据え、誰もが安心して質の高い医療を受けることができるよう、地域医療の提供体制の確立が求められている。

県民・患者の視点に立った安全で質の高い地域医療を実現するため、次の事項について国に働きかけるほか、適切な措置を講じるよう要望する。

- 1 研修医の募集定員の算定にあたっては、過去の研修医の採用実績でなく、医師不足の解消に取り組んでいる各地域実情を勘案し、柔軟性を持って定める方式とすること。
- 2 小児科や産婦人科など、医師が不足している診療科目について、医師の負担を軽減するための対策や診療科目ごとの専門医の養成や認定等により医師の偏在を解消すること。
- 3 出産・子育て支援として実施する妊婦一般健康診査の公費助成については、国において、平成23年度以降も継続して財源措置すること。